



田中優子



福岡伸一

■第二部…ともいき談義

**福岡伸一**  
(青山学院大学教授・分子生物学)

**田中優子**  
(法政大学教授・日本近世文化)

**袖山榮眞**  
(東海学園大学学長、浄土宗僧侶)

**高田公理**  
(佛教大学教授) ※コーディネーター

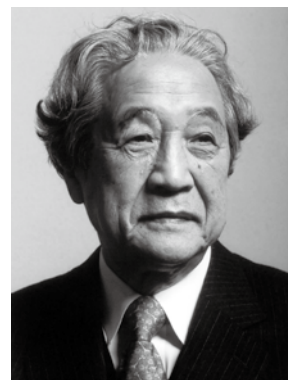
# 法然共生フォーラム

ともいき

いのちを慈しむ知恵

in名古屋

世界に満ちる様々ないのち  
モノやコトにも宿るいのち  
あの世とこの世を結ぶいのち  
太古から未来へ継がれるいのち  
そんないのちと共にあること  
そんな私が生きてゆくこと  
それが「ともいき」です



■第一部…ともいきがたり(講演)

「共生とは何か」

**梅原 猛** (哲学者)

人間中心から自然中心の哲学へ  
進歩よりも循環の世界観を  
日本人の心の起源を辿りながら  
真の共生への視座を語って戴きます

書・紫舟

テーマ:

## 生物多様性と縁起

——ともいき共生とは何か——

なぜ多様性は大切なのか  
多様性が共存共生するために  
どのような哲学が必要なのか  
共生を“TOMOIKI”と読むことで  
真に豊かな生命の有り様を見つめます

**参加無料**

※参加応募方法を裏面に記載しています

日時：平成22年 **9月17日(金)** **18時30分**より  
(18時開場/21時30分終了)

会場：**テレピアホール** (名古屋市東区東桜)

主催：浄土宗 後援：中日新聞社 特別協力：法然上人をたたえる会  
協力：総本山知恩院(京都) 大本山増上寺(東京) 大本山金戒光明寺(京都) 大本山知恩寺(京都)  
大本山清浄華院(京都) 大本山普導寺(久留米) 大本山光明寺(鎌倉) 大本山善光寺大本願(長野)

# 法然共生フォーラム

とも いき

## ～いのちを慈しむ知恵～

ここは乾き、いのちは痩せ細り、社会は、ゆくえの見えない閉塞に覆われています。

いまこそ豊かな想像力を取戻し、あらゆるものに等しく息づく“いのち”を想い、慈しみたい。

世界に満ちる多様な“いのち”、過去から未来へ連なる遙かな“いのち”と共にある・・・それが“ともいき”です。

このフォーラムは、法然上人の教えに流れる“ともいき”精神について考える、

対話と交流の場です。浄土宗が全国各地で開催しています。



### 梅原 猛

(哲学者)

うめはら たけし

1925年、仙台市生まれ。京都大学文学部哲学科卒。京都市立芸術大学学長、国際日本文化研究センター初代所長等を歴任。1999年、文化勲章受章。縄文時代から近代までを視野に収め、文学・歴史・宗教等を包括して日本文化の深層を解明する。著書に『隠された十字架 法隆寺論』『日本人の「あ」の世』、『法然の哀しみ』など。近著に『葬られた王朝 古代出雲の謎を解く』。法然上人をたたえる会会員。



### 福岡伸一

(青山学院大学教授・分子生物学)

ふくおか しんいち

1959年、東京生まれ。京都大学卒。ハーバード大学研究員、京都大学助教授などを経て現職。著書『生物と無生物のあいだ』は67万部を超えるベストセラーに。他に『ロハスの思考』『動的平衡』『世界は分けてもわからない』『ルリボシカミキリの青』など。NHK&NHK-BS『いのちドラマチック』コメンテーター、生物多様性の大切さを伝える環境省の広報組織「地球いきもの応援団」メンバーもつとめる。



### 田中優子

(法政大学教授・日本近世文化)

たなか ゆうこ

1952年、横浜生まれ。近世文学を専攻するが、研究範囲は江戸時代の美術、生活文化、海外貿易、経済、音楽、「連」の働きなどに拡がり、アジアと江戸の交流・比較研究などにもおよぶ。江戸時代の価値観から見た現代社会の問題にも言及。著書に『江戸の想像力』『近世アジア漂流』『連・対話集』『江戸はネットワーク』『江戸の恋』『カムイ伝講義』『未来のための江戸学』など。



### 袖山榮眞

(東海学園大学学長、浄土宗僧侶)

そでやま えいしん

浄土宗長野教区十念寺住職。首都大学東京名誉教授。1935年、長野県生まれ。東京大学大学院英文科修了。66年から東京立大学(現・首都大学東京)で教鞭をとる。海外小説の翻訳も(R・K・ナラーヤン『マルグディにきた虎』など)。浄土宗内では長野教区長、浄土宗教学局長・文化局長などを歴任。(財)浄土宗報恩明照会理事長。



### 高田公理

(佛敎大学教授)

たかだ まさとし

1944年、京都市生まれ。京都大学理学部卒業後、シンクタンク主任研究員、武庫川女子大学教授を経て'08年より現職。学術博士。専門は社会学・文明学・観光学。著書に『語り合うつぼんの知恵』『にっぽんの知恵』『酒場の社会学』『自動車と人間の百年史』『“流行”の社会学』、編著に『嗜好品の文化人類学』など。

### ■「生物多様性と縁起——共生とは何か」について

昨日・今日・明日……人は自らの同一性を疑わない。姿形や思いの劇的な変化が認知できないからだ。

しかし約3か月、本当は人の体は、食べた動植物を形成していた物質とほぼ完全に入れ替わる。その間の体験や記憶が、心のありようを微妙に変化させもする。

生命は、物質と情報を外部と「やりとり」し「循環」させることでのみ生きられるのだ。

そんな生命が地球に誕生して35億年、生き物の種類は3000万に及び、その「多様性」は、たがい他生命を生かす何らかの「縁起」の糸で結ばれている。

ただ最近、人類文明が、驚くほどの速さで他の動植物を絶滅の淵に追いやり始めた。結果、生命を支える「循環」と「縁起」は深刻な危機に瀕している。

自然は、人間だけの勝手な繁栄を許さない。そのことを熟知していた昔の日本人は、だから「草木国土悉皆成仏」という思いを抱き続けたのだ。そんな思いを振り返りつつ「生物多様性と縁起」に託して「共生とは何か」を考えてみたい。

高田公理(コーディネーター)

日 時:平成22年9月17日(金)

18時30分～21時30分

会 場:テレピアホール

### 次 第

18:30～ 開会挨拶

#### ■第1部:ともいきがたり

梅原 猛

19:30～ <休憩>

19:45～ 浄土宗の活動紹介

#### ■第2部:ともいき談義

福岡伸一・田中優子

袖山榮眞・高田公理

## 参加応募方法

参加は無料です。抽選で500名様に参加券を発送します。参加ご希望の方は、はがきに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し下記までお送り下さい。はがき1枚で2名様まで申込可能(お名前2名分を記入)。FAXやEメールによる応募も可能です。申込みは**8月30日(月)消印・着信有効**。発表は参加券発送にて替えさせて戴きます。

〒604-8161 京都市中京区饅頭屋町595-3 法然共生フォーラム事務局「名古屋」係 ※「名古屋」係と必ず明記願います

Eメールアドレス:tomoiki@convention.jp TEL:075-256-8672 FAX:075-256-8673

※参加応募に必要な個人情報を第三者に対して開示・提供することは一切ありません。